

現行の長期構想の総括

目指すべき将来像Ⅰ 魅力と誇りが実感できる「いしかわ」

1 交流が盛んな特色ある地域づくり

北陸新幹線の金沢開業
H27.3.14に長野～金沢開業



- ・東京・金沢間の時間短縮効果
3時間47分から2時間28分(最速)へ
- ・官民が連携して開業に備えた取組み
“STEP21”(H21～)

観光誘客の推進

「三大都市圏誘客1000万人構想」及び「海外誘客10倍増構想」の達成に向け、北陸新幹線金沢開業を見据えた効果的な情報発信と受け地の魅力づくりを促進

- ・新幹線開業PR推進ファンド(H25創設)
- ・ふるさと祭り東京(H22～)、日本橋・京橋まつり(H25～)に参加
- ・能登ふるさと博、加賀四湯博(H20～)、いしかわスイーツ博(H24～)
- ・石川県金沢観光情報センターの機能強化(H27.3)
- ・観光おもてなし塾(H22～)、おもてなし宣言いしかわ大会(H27.1月)
- ・国際旅行博に参加、海外メディア等招聘
- ・外国人受入環境向上セミナー(H21～)、受入環境整備支援制度(H27創設)



人・ものの広域交流のための基盤整備

小松空港の国内・国外の航空ネットワークを充実

- ・航空乗継利用促進協議会の設立(H24.8月)
- ・小松-台北便のデیلیー化(H24.12月)
- ・のと里山空港で目標搭乗率を毎年達成(東日本大震災のH23を除く)

のと里山海道等を前倒して無料化、「ダブルラダー結いの道」整備構想を推進

- ・のと里山海道、田鶴浜道路、川北大橋有料道路の無料化(H25.3月)
のと里山海道の交通量(千里浜IC-柳田IC間)
無料化前:15千台/日→無料化後:29千台/日(約2倍)
- ・能越自動車道七尾氷見道路全線供用(H27.2月)、金沢外環状道路海側幹線(Ⅱ期区間:H25.12月、Ⅲ期区間:H27.2月)、加賀産業開発道路全線4車線化(H24.12月)

金沢港・七尾港の機能を強化

- ・金沢港大浜水深岸壁を水深12mで暫定供用(H20.11月)
- ・金沢港御供田国際コンテナターミナルの供用開始(H25.4月)
- ・七尾港大田水深岸壁を水深11mで暫定供用(H24.9月)



伝統文化の継承・発展と新たな文化の創造

金沢城公園で河北門や橋爪門、玉泉院丸庭園等を整備

- ・河北門(H22.4月)
- ・橋爪門、玉泉院丸庭園(H27.3月)

県庁跡地を整備し、石川県政記念しいのき迎賓館を開館

- ・しいのき迎賓館の開館(H22.4月)、しいのき緑地及びいしかわ四高記念公園の供用開始(H26.7月)

県立美術館や県立歴史博物館等をリニューアル、ラ・フォル・ジュルネ金沢音楽祭を開催

- ・県立美術館のリニューアル、前田育徳会尊経閣文庫分館の設置(H20.9月)
- ・県立歴史博物館のリニューアル(H27.4月)
- ・ラ・フォル・ジュルネ金沢音楽祭(H20～)

文化の裾野の拡大と、さらなる高みを目指した取組を進めるため、いしかわ文化振興条例を制定

- ・いしかわ文化振興条例(H27.4施行)
- ・文化振興基金(120億円)(H27.4月創設)



多文化の共生と交流の推進

本県の個性と持ち味を活用した交流を推進

- ・日本語・日本文化研修センターの機能強化
- ・留学生支援の充実
- ・国際交流員や留学生による国際理解教室



「学都石川」の魅力を発信

単位互換授業「シティカレッジ」や公開講座等の県内大学間の連携を支援

看護大学、県立大学を公立大学法人化

- ・シティカレッジ受講者数 510人(H17)→1,728人(H26)
- ・看護大学及び県立大学の公立大学法人化(H23.4月)
- ・教育・研究の質の向上及び地域貢献活動の活性化



3 自律した持続可能な地域づくり

にぎわいのある地域づくり

地域のまちづくりと連携し、無電柱化を核とした街並み景観を整備

- ・歩行者交通量(山中温泉)
13百人/12hr(H10)→28百人/12hr(H26)



愛着の持てるふるさとの継承

奥能登ウェルカムプロジェクトなどにより地域の魅力を向上

- ・地域ブランド「能登井」の開発(H19～)



活力ある地域コミュニティの再生

行政と地域住民との連携・協働や、NPO活動を促進

- ・人口10万人あたりNPO法人数(認証数) 17.1法人(H18)→30.0法人(H26)

目指すべき将来像Ⅱ 活力ある産業と働きがいを実感できる「いしかわ」

4 競争力のある元気な産業づくり

新産業の創出、国際競争力の向上

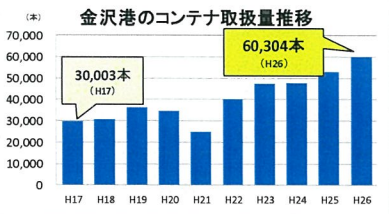
産学・産業間の連携強化により新産業を創出したほか、次世代型企業の育成等を通じて 国際競争力を向上



- ・いしかわ次世代産業創造ファンド(300億円)(H22.7月創設、H26.7月増資)
- ・産業化資源活用推進ファンド(300億円)(H20.5月創設、H25.5月増資)
- ・革新的イノベーション創出プログラム(80億円)(H25～H33予定)
- ・炭素繊維分野における東海・北陸両地域における連携(H26～)
- ・県内企業の海外販路開拓支援(海外見本市等への出展支援)
- ・ニッチトップ企業海外展開支援事業(H26～)

戦略的な企業誘致、重要港湾の国際物流拠点化

全国トップレベルの助成制度等を活用した戦略的な企業誘致を実施したほか、金沢港の機能強化や七尾港の活用を促進



- ・新規立地と既存拠点の増設を合わせて累計59社の誘致(H18～H26)
- ・定期コンテナ・RORO航路週11便(日本海側トップクラス)
- ・積極的なポートセールスの展開(上海H22～、東南アジアH26～)
- ・クルーズ船誘致の強化(H23～)

地場産業の経営安定化・基盤強化

各種取組により地場産業を活性化



- ・企業ドックによる中小企業の経営力支援強化(H22～)
- ・伝統産業戦略的マーケットイン支援事業(H25～)
- ・アンテナショップ「いしかわ百万石物語・江戸本店」をオープン(H26.10月)

産業活力を支える人材の育成・確保

次世代の経営者の育成や若年者、中高年の雇用対策等、産業人材の育成・確保を推進

- ・石川経営天書塾(H17～)
- ・モノづくり技能継承塾(H18～)
- ・いしかわ女性再チャレンジ支援室の設置(H18)
- ・ふるさと就職フェアいしかわ(H19～)
- ・首都圏等で県内企業の魅力発信セミナー(H26～)



環境にやさしい産業活動の促進

環境マネジメントシステムに取り組む事業者の増大など産業における環境配慮活動を推進

- ・いしかわ事業者版環境ISOの登録制度(H19～)
- ・ふるさと石川環境保全功労者表彰(H19～)
- ・いしかわエコデザイン賞(H23～)



5 魅力ある産業としての農林水産業づくり

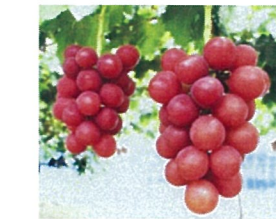
次世代に向けた安定的な担い手の確保

農業人材の育成に関する施策の立案から実行まで総合的に推進する体制を構築することで、担い手確保を推進
農地の確保・斡旋から人材の確保、経営の効率化までをワンストップで支援する体制を整備



- ・(公財)いしかわ農業総合支援機構(H21設置の(財)いしかわ農業人材機構をH26.7月改組)
- ・農業関係では全国初となるいしかわ農業参入支援ファンドを創設(140億円)
- ・いしかわ耕稼塾(H21～) (H26.7月)
- ・新規就農者 平均32人(耕稼塾開設前)→150人(H25)
- ・法人参入による担い手の確保
- ・建設分野や食品加工分野等で累計42社が参入(H18～H26)
- ・第16回全国農業担い手サミットinいしかわ(H25.10月)

消費者ニーズに応える 戦略的な生産と流通の確立



- ・オンリーワン商品の直近の出荷量
ルビーロマン 15,120房(H26)、
エアリーフローラ 306,012本(H27)
- ・のどてまりの生産量 0.7t(H26)
- ・能登牛1000頭生産体制の整備(H22～)
- ・能登とり貝の本格生産開始(H26～)

林業・木材産業の育成

森林整備の推進や生産から加工、流通までが一体となった林業・木材産業育成を推進



- ・林道網の整備などによる低コストで安定的な県産材の供給体制の整備

水産資源の回復と 水産業の再生

種苗放流や資源計画の策定による水産資源の回復と維持
機能的な流通システムと魅力ある漁業経営の確立



- ・水産資源の増大を目的とするミズガニ漁獲自粛(H26～)
- ・県一漁協の優位性を生かした規格・品質の統一や大手スーパー等との直接取引による販路拡大

農林水産業・農山漁村の 多面的な機能の保全・発揮

県土の保全や水資源のかん養といった多面的な機能の保全・発揮に向けた取り組みを促進



- ・いしかわ森林環境基金事業(H19～)
- ・いしかわ森林環境実感ツアー、森づくりボランティア推進事業の参加人数
1,538人(H19)→2,179人(H26)
- ・いしかわ田んぼの学校 165校実施(H26)
- ・能登の里海藻場保全対策事業(H24～)
- ・中山間地域等直接支払(H19～)、多面的機能支払の取り組み支援(H26～)

目指すべき将来像Ⅲ 暮らしやすさが実感できる「いしかわ」

6 安全でうるおい豊かな環境づくり

災害に強い県土づくり、 身近な安全・安心の確保

能登半島地震からの復興支援を推進
「自助、共助、公助」の体制強化による地域防災力を強化
災害時の応急・救急活動等に必要な防災拠点や緊急輸送道路等を強化
警察署の機能を強化

- ・能登半島地震復興基金の設立(H19)
- ・東日本大震災を踏まえた地域防災計画の見直し
- ・防災拠点施設の耐震化 99.6%(H26末)
- ・緊急輸送道路上の橋梁の耐震化(H25、落橋防止対策完了)
- ・白山警察署の新設(H24.4月)

自然と人とが共生できる 社会づくり

世界農業遺産「能登の里山里海」の保全・利活用をはじめとする、多様な主体による「元気な里山里海づくり」を推進
トキの分散飼育を開始し、自然繁殖に成功



- ・いしかわ里山創成ファンド(53億円)(H23.5月創設)
- ・世界農業遺産国際会議(H25.5月)
- ・輪島の海女の「いしかわ里海の至宝」認定(H26.6月)
- ・トキの分散飼育の開始(H22.1月)、飼育下の3ペアから10羽を飼育(H26)

7 みんなで支える安らぎのある社会づくり

地域社会全体での子育て支援

子どもを健やかに生み育てることができる少子化対策先進県を目指した取り組みを推進



- ・マイ保育園の充実・強化(H18～)
- ・プレミアム・パスポート事業協賛店舗
1,948店舗(H21)→2,304店舗(H26)
- ・合計特殊出生率 1.35(H17)→1.45(H26概数)
- ・仕事と子育ての両立を支援する一般事業主行動計画の策定対象範囲の拡大 従業員100～300人(H20～)、50～99人(H25～)
- ・縁結びistの活動による成婚 約500組(H18～H26)

すべての人が安心して生活できる環境づくり 高齢者への見守り体制を構築したほか、障害者への福祉サービス提供基盤を充実

- ・地域見守りネットワーク構築事業(H23～)
- ・障害福祉施設から一般就労への移行支援
移行者数 20人(H17)→82人(H25)

こころとからだの健康づくり

生活習慣病の発症予防・重症化予防、介護予防、認知症対策などの取り組みを推進

- ・もっと野菜プロジェクト(MYP350)事業(H24～)
- ・50代を対象に運動器症候群(ロコモ)予防の普及(H25～)
- ・いしかわヘルシー&デリシャスメニューの開発と普及(H26～)

人権の尊重と男女共同参画社会の形成

県民一人ひとりの人権意識の高揚を図り、男女を問わずすべての個人がその個性と能力を発揮できる社会づくりを推進

- ・男女共同参画推進宣言企業認定制度(H24～) 206社認定(～H26)
- ・配偶者等からの暴力根絶に向けたパープルリボンキャンペーン(H25～)

8 未来を拓く心豊かな人づくり

個性を伸ばす学校づくり

小中学校及び高等学校の学力向上策を充実させたほか、教員の大量退職を見据え、いしかわ師範塾を開講

- ・「いしかわ学びの指針12か条」策定(H23)及び推進校の指定(H24～H26)
- ・いしかわニュースーパーハイスクール(H24～、H15設置のスーパーハイスクール事業の強化)
- ・いしかわ師範塾(H25～)

青少年の健全育成

いしかわ子ども総合条例の改正(H22)による、携帯電話の利用制限など、青少年の健全育成を推進

生涯学習の推進

県民大学校の講座充実など生涯学習の環境を整備
・石川県民大学校修了者数(累計) 9,968人(H17)→15,436人(H26)

生涯スポーツの振興と競技力の向上 スポーツ振興の中核的拠点施設として、いしかわ総合スポーツセンターを開設



- ・いしかわ総合スポーツセンターの開設(H20.4月)、年間利用者数はH23から4年連続50万人以上

安全で良質な医療を受けること のできる地域社会づくり

新県立中央病院の建設工事着工



- ・新県立中央病院着工(H27.3月)
- ・金沢大学医学部特別枠医学生への修学資金の貸与(H21～)

環境への負荷の少ない 循環型社会づくり

「いしかわ版環境ISO」の普及や住宅の省エネ化施策など本県独自の環境施策を推進



- ・家庭版環境ISOに取り組むエコファミリー
9,294家庭(H23)→24,072家庭(H26)

[施策検証表]

将来像Ⅰ 魅力と誇りが実感できる「いしかわ」

重点戦略Ⅰ 交流が盛んな特色ある地域づくり

【重点戦略に基づく施策】

- (1) 北陸新幹線の早期実現と開業効果を最大限に引き出すための方策の策定・推進
- (2) 3大都市圏誘客1000万人構想の推進
- (3) 海外誘客3倍※増構想の推進 ※H19に3倍増の目標を達成したため10倍増に上方修正
- (4) 人・ものの広域な交流のための基盤整備の推進

【実施した事業】

主なハード事業

- (1) 北陸新幹線金沢開業(H27.3.14)／金沢・敦賀間の工事着工(H24.6)
- (2) 千里浜なぎさドライブウェイの保全・活用／H18以降、新たに道の駅6箇所設置／温泉地等における無電柱化事業や道路拡幅とあわせた街並み整備：栗津温泉(H19～)、片山津温泉(H25.1)、山中温泉(H25.4)、和倉温泉(H27.3)／いしかわ風景街道事業(寄り道パーキングの整備(H24～)／新アンテナショップ(いしかわ百万石物語・江戸本店)のオープン(H26.10)
- (4) 「ダブルラダー結いの道」整備構想の推進：国道415号羽咋バイパスⅠ期(H22.3)、北陸自動車道白山IC(H24.4)、加賀産業開発道路全線4車線化(H24.12)、金沢井波線全線供用(H25.11)、金沢外環状道路海側幹線Ⅱ期区間(H25.12)・Ⅲ期区間(H27.2)、のと里山海道白尾IC以南4車線化(H26.11)、能越自動車道七尾氷見道路(H27.2)／金沢港大浜大水深岸壁を水深12mで暫定供用(H20.11)／七尾港大田大水深岸壁を水深11mで暫定供用(H24.9)／金沢港御供田国際コンテナターミナル(トランスファークレーン)供用(H25.4)／七尾港矢田新旅客船岸壁(H27.5)

主なソフト事業

- (1) 北陸新幹線金沢開業に向けたアクションプラン「STEP21」(H21.3策定)／北陸新幹線開業PR戦略実行委員会の設置(H24)／IRいしかわ鉄道株式会社の設立(H24.8)／北陸新幹線開業カウントダウンフォーラム(H25.3～)／新幹線開業PR推進ファンド(H25創設)
- (2) いしかわ伝統工芸フェア／金沢芸妓の舞(H18～)／いしかわ景観総合条例(H20.7制定)／いしかわ風景街道を6路線認定／「能登ふるさと博」(H20～)、「加賀四湯博」(H20～)、「いしかわスイーツ博」(H24～)などのイベント、キャンペーン／観光おもてなし塾(H22～)／おもてなし講座(H22～)／ほっと石川おもてなし推進協議会の設立(H23.5)／おもてなし推進大会(H23～)／おもてなし宣言石川大会(H27.1)
- (3) 現地旅行博等への出展／旅行会社・メディアの招へい／メールマガジンによる情報発信(英語ほか9言語)(H20～)／外国人受入環境向上に向けたセミナー開催など(H21～)／石川県観光親善大使の委嘱(韓国、台湾、香港、欧州)(H23～)／多言語パンフレットの作成(英語ほか8言語)(H18～)／受入環境整備支援制度(H27創設)
- (4) のと里山空港を核とした交流拡大、地域振興(搭乗率保証制度に基づく目標搭乗率の達成、国際チャーター便誘致、にぎわい創出イベント)／小松空港において国際貨物便(北米便)が就航(週1便)(H23.10)／航空乗継利用促進協議会の設立(H24.8)／小松ー台北便のデイリー化(H24.12)／小松空港国内線の増便(羽田便、福岡便、仙台便)(H25.3)／のと里山海道、川北大橋有料道路、田鶴浜道路の無料化(H25.3)

【成果】

■ 達成目標に設定した指標(16項目)

達成度区分	A	B	C
項目数(割合)	5(31.25%)	6(37.50%)	5(31.25%)

A…北陸新幹線金沢開業、北陸新幹線金沢以西認可(金沢～敦賀間)、景観形成重要地域の指定箇所数、いしかわ風景街道の指定ルート数、高規格幹線道路のICへ30分以内で到達可能な区域に住む人口の割合

B…県内観光入り込み客数、コンベンション年間開催件数、観光ボランティアガイド団体数、小松空港の年間利用者数(国内線・国際線)、金沢港のコンテナ年間取扱貨物量等

C…小松空港の年間貨物取扱量(輸入・輸出)、のと里山空港の年間利用者数(国内線)、輪島～名古屋間の所要時間(道路)等

■ その他の主要な成果

- ① 北陸新幹線金沢開業による
時間短縮効果(東京～金沢間)

開業前	現在
3時間47分	2時間28分

- ② 外国人宿泊客数の増加 ※H25よりインドネシアを含む

	H18年	H26年
外国人全体	121,330人	293,956人
台湾	65,216人	113,347人
東南アジア※	1,811人	20,269人
欧州	8,863人	32,686人

【現在・将来における課題】

観光誘客

- 3大都市圏からの誘客
 - ・北陸新幹線金沢開業により来県する観光客のリピーター化
 - ・観光入り込み客数だけでなく、観光客1人ひとりが本県の魅力をどれだけ深く味わい、満足度を高められるかという「より質の高い観光」という視点
 - ・魅力を磨き上げ、深く伝えるための取り組みの充実
- 海外からの誘客
 - ・新幹線開業効果及び東京オリンピックにより増加が予想される訪日観光客の取り込み
 - ・外国人観光客が快適に観光できる受け入れ環境の整備促進

交流基盤

北陸新幹線、小松空港国際定期便やチャーター便の活用、クルーズ船の誘致など、県内交通インフラを活用した更なる誘客拡大

- 新幹線
 - ・金沢・敦賀間のH34末までの確実な完成・開業
 - ・金沢・福井間の開業前倒し
 - ・大阪までのフル規格による早期全線整備
- 空港
 - ・北陸新幹線金沢開業後の羽田便の維持
 - ・新幹線イン空港アウトなどの片道航空利用の促進
 - ・羽田乗継など航空のネットワークを活かした誘客、二次交通アクセスの整備
- 道路
 - ・更なる時間距離の短縮
 - ・地域の魅力を活かした道路整備、更なる回遊性の向上
- 港湾
 - ・クルーズ船の寄港増加等への対応

[施策検証表]

将来像Ⅰ 魅力と誇りが実感できる「いしかわ」

重点戦略２ 個性を活かした文化と学術の地域づくり

【重点戦略に基づく施策】

- (1) 高等教育機関の集積を活かした「学都石川」の魅力発信
- (2) 伝統文化の継承・発展と新たな文化の創造
- (3) 世界に開かれた多文化の共生・交流の推進

【実施した事業】

主なハード事業

- (2) 兼六園の保全／金沢城公園の整備：河北門、いもり堀園地 (H22. 4)、橋爪門(二の門、枳形土塀)、玉泉院丸庭園、丸の内園地 (H27. 3) ／石川県政記念しいのき迎賓館の開館 (H22. 4、全体供用開始 H26. 7) ／いしかわ四高記念公園 (旧中央公園) の再整備 (H25～H26) ／石川四高記念文化交流館のリニューアル (H20. 4)、石川県立美術館のリニューアル (H20. 9)、前田育徳会尊経閣文庫分館の設置 (H20. 9)、石川県立歴史博物館のリニューアル (H27. 4) ／無電柱化による街並み整備：石引地区 (H25. 8)、小立野地区 (H26. 7)、野町地区 (H26. 7)

主なソフト事業

- (1) 大学コンソーシアム石川事業 (H18～) ／看護大学及び県立大学の公立大学法人化 (H23. 4) ／看護大学における地域貢献活動を通じた教育の実践 (かほく市発ヘルスプロモーション (H24～) など) ／県立大学における地元生産物の高付加価値化に向けた研究：ルビーロマンの栽培研究 (H24～)、産学官連携のもと能登の伝統的発酵食品から抽出した乳酸菌を活用した健康飲料の開発 (H24) など) ／地域課題研究ゼミナール支援
- (2) 埋蔵文化財の保存・活用／世界遺産登録に向けた城下町金沢及び霊峰白山の暫定一覧表候補掲載、セミナー、シンポジウムの開催／県立美術館や音楽堂などの文化施設における石川県民大学校文化講座／兼六園周辺文化の森ミュージアムウィーク (H18～) ／ラ・フォル・ジュルネ金沢音楽祭 (H20～) ／金沢城跡の国史跡指定 (H20)、主計町、卯辰山麓、寺町台、黒島、東谷、白峰の重要伝統的建造物群保存地区選定 (H20～H24) ／景観形成重点地区を指定：2 地区、春蘭の里 (H24. 3)、奥のと里海日置 (H26. 3)
- (3) 日本語・日本文化研修センターの機能強化／留学生支援の充実 ／国際交流員や留学生による国際理解教室／JICA 草の根事業と連携した国際協力事業／いしかわ国際交流塾 (H23～H24) ／(独) 国際交流基金との海外における日本語教育分野に関する連携協定の締結 (H26)

【成果】

■ 達成目標に設定した指標 (18 項目)

達成度区分	A	B	C
項目数 (割合)	11 (61.10%)	6 (33.30%)	1 (5.60%)

A…いしかわシティカレッジ年間受講者数、石川県立大学における文部科学省の科学研究費補助金の獲得数、同大学における産学官の共同研究・受託研究数、兼六園・金沢城公園の年間入園者数、兼六園周辺文化施設の年間入館者数、県庁跡地の年間利用者数、日展入選者数、日本伝統工芸展入選者数、埋蔵文化財センター年間入館者数、石川県応援団の設立地域数 等

B…音楽堂年間入館者数、国・県指定文化財指定件数、石川ジャパニーズ・スタディーズ・プログラム年間受講生数、民間国際交流団体数 等

C…石川県立看護大学における専門看護師教育課程数

■ その他の主要な成果

○シティカレッジ年間受講者数：510 人 (H17) →1,728 人 (H26)

○兼六園・金沢城公園の年間入園者数：

約 238 万人 (兼六園 1,606 千人 金沢城公園 770 千人) (H17)

→約 340 万人 (兼六園 2,037 千人 金沢城公園 1,367 千人) (H26)

○県庁跡地年間利用者数：約 45 万人 (H26) (利用者アンケートに基づく満足度 95%以上を維持)

【現在・将来における課題】

高等教育

- 少子化による大学間の学生獲得競争の激化 (H32 以降、18 歳以上人口減少見込み)
- 北陸新幹線沿線からの学生流入の促進
- 外国人観光客の増加や企業の海外進出、東京オリンピック開催を踏まえたグローバル人材の育成
- 人口減少社会に応じた、大学の知と学生の若い力による活力創出の取り組み

伝統文化の継承・発展

- 文化を取り巻く環境の変化
 - ・「物の豊かさ」から「こころの豊かさ」へ、「量」から「質」への価値観の変化
 - ・新たな文化資源として食文化や里山里海等が評価される等、文化の概念が拡大
 - ・北陸新幹線金沢開業により、石川の質の高い文化を全国へ発信する好機が到来
- 北陸新幹線の開業による入り込み客数の増加、金沢城玉泉院丸庭園の整備等による金沢市内中心部の人の流れの変化への対応
- 金沢城の更なる魅力向上のための復元整備の推進
- 金沢城と兼六園の一体活用の促進、周辺文化施設との連携
- 景観形成協定締結地区における住民参画の促進による景観形成活動の更なる発展と推進
- 文化財の観光振興や地域活性化への活用：「日本遺産」への対応、新たに県が創設する「いしかわ歴史遺産」の認定を通じた全国への本県の魅力発信

国際交流

- 東京オリンピックを契機とした自治体間交流の促進
- 留学生等を活用した石川の魅力・文化の発信
- 増加傾向にある外国人住民への対応

[施策検証表]

将来像 | 魅力と誇りが実感できる「いしかわ」

重点戦略3 自律した持続可能な地域づくり

【重点戦略に基づく施策】

- (1) 都市部におけるコンパクトでにぎわいのある地域づくり
- (2) 愛着の持てるふるさとの次世代への継承
- (3) 県民一人ひとりが支えていく活力ある地域のコミュニティの再生

【実施した事業】

主なハード事業

- (1) 金沢駅等主要駅周辺の歩道バリアフリー化や通学路等での歩行空間の整備／県営住宅における建て替え等整備（県営住宅 281 戸、市町営住宅 443 戸）／本多の森公園（H20～）、いしかわ四高記念公園（旧中央公園）の再整備（H25～H26）、白山ろくテーマパーク、能登歴史公園園分寺地区暫定供用（H27. 2）／生活排水処理施設の整備（H23 見直し）／輪島港マリンタウンプロジェクト（H27. 3）
- (2) 1.5 車線の道路の整備（41 路線）／合併支援道路の整備（38 ヶ所）／県内 11 市町のブロードバンド基盤の整備

主なソフト事業

- (1) 地域での緑化活動についての養成講座（H15～）／公益的建築物や住宅へのバリアフリーアドバイザー派遣（H19～）／養成講座修了者の「緑と花のまちづくり推進員」への登録（H26 現在：169 名）
- (2) 地域の核となる人材育成に向けた地域づくり塾／販路拡大に向けた県産食材求評懇談会「いしかわ百万石マルシェ」（H18～）／地域ブランド「能登井」の開発（H19）／農林漁業者の 6 次産業化の支援（H21～）／都市圏での移住セミナーや個別相談会（H23～）／ワークステイいしかわ交流促進事業：都市住民と地域との交流（H24～）、JR 東日本と連携した移住体験モニターツアー、首都圏アンテナショップでの移住相談窓口の設置（H26～）／雇用拡大関連企業立地促進補助金の補助対象の拡大（H26～）
- (3) （公財）県民ボランティアセンターを中心としたボランティア活動推進に向けた環境整備：ボランティア交流名簿の作成、ボランティア活動保険掛金の一部助成／県 NPO 活動支援センターを拠点とした NPO 活動への支援／地域づくりコーディネーターの派遣（H18～）／高齢者訪問指導事業による自宅・街頭における高齢者への交通安全指導（H21～H25）／いしかわ我がまちアドプト制度（H22～）／若い世代の参加促進を図る防犯ボランティア「いしかわユニバーシティーズ防犯プロジェクト」（H22. 9～）

【成果】

■ 達成目標に設定した指標（14 項目）

達成度区分	A	B	C
項目数（割合）	6（42.90%）	8（57.10%）	0（0.00%）

A…にぎわいのある地域づくりのためのまちづくり活動団体数、アグリビジネスの起業化研究会の設置数、ブロードバンド・ゼロ地域の世帯比率、人口 10 万人当たりの NPO 法人認証数 等

B…公益的建築物のバリアフリー化率、主要鉄道駅周辺の歩道のバリアフリー化率、県営公園における管理者主催の住民参加イベントの年間開催回数、ラッシュ時間帯の都心軸を通過する車両の走行速度（渋滞損失時間）、グリーン・ツーリズム施設等の年間利用者数、合併支援道路に指定された区間のうち整備済の区間の割合、生活道路のうち待避所等が整備され安心なすれ違いが確保された区間の割合、県と NPO との年間協働件数

■ その他の主要な成果

- 災害ボランティアコーディネーター養成数：53 人（H18）→460 人（H26）
- 輪島港マリンタウンプロジェクト：H22 に旅客船岸壁が完成し、17 隻のクルーズ船が寄港（H22～H26）
- アグリビジネスの起業支援（公財）いしかわ農業総合支援機構における 6 次産業化に関する相談件数：192 件（H26）
- 防犯ボランティア団体：500 団体（H26）

【現在・将来における課題】

地域づくり

- 市街地の更なる渋滞緩和
 - ・金沢外環状道路の整備やボトルネック交差点の改良
- 空き家の増加や耐震性・居住性の低い老朽化住宅への対応
- 北陸新幹線開業による首都圏からの移住・交流居住の促進
 - ・効果的な情報発信
 - ・移住者を受け入れる地域の意識醸成
- 地域の担い手不足や過疎化の進行
 - ・地域の担い手育成
 - ・ご当地グルメなどの多彩な地域資源を活用した地域づくり

アグリビジネス

- 各段階に応じたきめ細かな支援（食品企業のような高度なものから、農産物にひと手間加えた素朴な取り組みまで）

地域コミュニティ

- 社会情勢の変化を背景とした公共サービスへのニーズの多様化・増大、行政だけでは対応の限界
 - ・協働のさらなる強化、ボランティア・NPO 法人の裾野の拡大
 - ・あらゆる世代を対象とする NPO・ボランティア活動への関心の誘導
 - ・NPO 法人の組織・運営基盤の強化

[施策検証表]

将来像Ⅱ 活力ある産業と働きがい実感できる「いしかわ」

重点戦略4 競争力のある元気な産業づくり

【重点戦略に基づく施策】

- (1) 連携新産業の創出
- (2) 次世代型企業の育成等を通じた本県産業の国際競争力の向上
- (3) 戦略的な企業誘致の推進
- (4) 重要港湾の国際物流拠点化と港湾活用型企業の集積促進
- (5) 産業活力を支える人材の総合的育成及び確保
- (6) 地場産業の経営安定化、基盤強化の推進
- (7) 環境にやさしい産業活動の促進

【実施した事業】

主なハード事業

- (1) いしかわ次世代産業創造支援センター (H23) / 革新複合材料研究開発センター (ICC) の整備 (H26)
- (4) 金沢港大浜大水深岸壁を水深12mで暫定供用 (H20. 11) / 七尾港大田大水深岸壁を水深11mで暫定供用 (H24. 9) / 金沢港御供田国際コンテナターミナルにおけるトランスファークレーンの導入 (H25. 4)

主なソフト事業

- (1) 技術提案型商談会 (大規模型、小規模型、メーカー招へい型) (H20～) / 受注開拓懇談会 / 石川県新情報書府事業 (第3期: H17～H19) (第4期: H20～H24) / 革新的ベンチャービジネスプランコンテスト (H19～) / いしかわ産業化資源活用推進ファンド (300億円) (H20. 5創設、H25. 5増資) / いしかわ次世代産業創造ファンド (300億円) (H22. 7創設、H26. 7増資) / 革新的イノベーション創出プログラム (COI) (80億円、H25～H33) / 東京大学先端科学技術センターの研究者と県内企業が連携して取り組む研究開発の支援 (H25～) / 炭素繊維分野における東海・北陸両地域の連携 (東海・北陸連携コンポジットハイウェイ構想、H26～)
- (2) ニッチトップ企業等認定支援事業 (H17～) / 海外見本市等への出展を通じた県内企業の現地販路開拓支援: 伝統工芸・食品等展示会 (H19～H26: 中国)、ニューヨーク食品展 (H20～H23: 米国)、シンガポール食品見本市 (H26: シンガポール) / いしかわ次世代産業創造ファンド (H22～H26で計112件の取り組みを支援) / シンガポールにおける食文化提案会 (H26) / ニッチトップ企業海外展開支援事業 (H26～、H26支援対象企業2社) / シンガポール事務所の開設 (H26. 10)
- (3) 県独自の優遇措置: 雇用拡大関連企業立地促進補助金、いしかわサイエンスパーク研究所等立地促進補助金、創造的産業等立地促進補助金 / 創造的産業等立地促進補助金の限度額引き上げ: 最大35億円→50億円 (全国10位) (H23～) / 雇用拡大関連企業立地促進補助金の補助対象に流通加工を伴う物流施設、植物工場の追加 (H26～)
- (4) 戦略的なポートセールス: 上海 (H22～)、東南アジア (H26～) / 七尾港における北米産原木のフィーダー輸送トライアル (H24～)
- (5) 石川経営天書塾 / ISICO 内に人材支援課の設置 / いしかわ女性再チャレンジ支援室の設置 (H18) / ふるさと就職フェアいしかわ (H19～) / 石川県戦略産業雇用創造プロジェクト事業 (H25～H27) / モノづくり技能継承塾 (H18～) 及びモノづくり基礎力向上セミナー (H20～)
- (6) 経営革新支援プログラム (H18. 6創設) / 伝統産業商品提案力育成事業 (H20～H24) / 中小企業再生・事業転換支援プログラムの拡充・強化 (H22. 4) / 伝統産業戦略的マーケットイン支援事業 (H25～) / ふるさと石川の地場産業を担い地域経済を支える中小企業の振興に関する条例 (H26制定)
- (7) 「エコ・リサイクル認定製品」認定取得企業との共催によるプレゼンテーション / いしかわ事業者版環境 ISO の普及 (H19～) / ふるさと石川環境保全功労者表彰 (H19～) / 県内中小企業等を対象にした温暖化対策等に関するセミナー (H22～H24) / いしかわエコデザイン賞 (H23～)

【成果】

■ 達成目標に設定した指標 (16項目)

達成度区分	A	B	C
項目数 (割合)	3 (18. 75%)	4 (25. 00%)	9 (56. 25%)

- A…誘致企業による GDP への寄与、60歳以上の労働力人口、ISO14001 及びエコアクション21登録事業所数
- B…ニッチトップ企業育成数、県内生産品の輸出時における金沢港利用率 (コンテナ貨物)、県内高等教育機関卒業者の県内就職率、女性の労働力率 (65歳以上を除く)
- C…連携新産業の創出による売上高、連携新産業の創出による新規雇用、新規上場企業数の増加、誘致企業による新規雇用の創出、金沢港における年間輸出取扱貨物量、七尾港 (公共ふ頭) における年間貨物取扱量、早期離職率、経営革新計画の法承認企業、伝統的工芸品年間生産額

■ その他の主要な成果

- 産業化資源活用推進ファンドによる地域資源を活用した商品開発・販路開拓
・採択563件・支援終了251件中、事業化成功225件 (90%)
- 金沢港
・定期コンテナ航路・RORO航路: 週11便 (日本海側でトップクラス)
・コンテナ貨物量: 30, 003本 (H17) → 60, 304本 (H26)
- 企業ドックによる中小企業の経営力支援強化: 2, 100社に対し、外部専門家を6, 415回派遣 (H22～H26)
- 県内企業の新規受注先確保及び受注拡大のためのマッチング
・技術提案型: 商談件数: 575件 (うち成約50件、成約金額1億1, 847万円)
・受注開拓: 斡旋1, 236件 (うち成立317件、成立受注金額36億7, 373万円)
- いしかわ事業者版環境 ISO 登録数: 716事業所 (H26年度)
- エコ・リサイクル認定製品認定数: 9企業11製品 (H10年度) → 46企業94製品 (H27年度)

【現在・将来における課題】

本県産業の強化

- 人口減少による停滞・縮小が見込まれる国内市場における、新商品開発による新規需要の創出
- 成長著しいアジアなど新興国市場における、積極的な市場開拓、需要の獲得
- 国内市場の停滞・海外市場の拡大、原材料価格の高騰、新興国からの輸入拡大やデフレ等を背景とした価格低下圧力の高まりへの対応
- 炭素繊維複合材料等の成長市場での取り組みの深化、新たな産業の創出
- ニッチトップ企業の集積や、伝統工芸・食文化など豊富な地域資源、金沢港・七尾港の整備や北陸新幹線の開業等の強みを伸ばすとともに、活用を徹底することによる外需の獲得
- 金沢港など物流拠点へのアクセス道路の更なる強化

戦略的な企業誘致の推進

- 安価な電力、低い大規模地震リスク、3大都市圏やアジアに繋がる交通インフラ等の優位性をアピールした戦略的な企業誘致

事業基盤の強化、産業人材の総合的な育成・確保

- 経営者の高齢化による事業継続問題の顕在化、生産体系への悪影響への対応
- 健全な財務状況の確保や円滑な資金調達等のセーフティネットの充実
- 生産年齢人口の減少に対応した、企業の成長を支える人材の育成・確保

環境

- 環境問題への対応と経済成長の両立を目指した「グリーン経済」の実現
- 環境ビジネスの創出や環境に配慮した産業活動の一層の推進など環境と経済の好循環の形成

[施策検証表]

将来像Ⅱ 活力ある産業と働きがい実感できる「いしかわ」

重点戦略5 魅力ある産業としての農林水産業づくり

【施策の概要】

- (1) 次世代に向けた安定的な担い手の確保
- (2) 消費者ニーズに応える戦略的な生産と流通の確立
- (3) 生産から加工、流通までが一体となった林業・木材産業の育成
- (4) 水産資源の回復と流通の効率化による水産業の再生
- (5) 農林水産業・農山漁村の多面的な機能の保全・発揮

【実施した事業】

主なハード事業

- (1) 大区画ほ場の整備
- (3) 林道網の整備
- (5) 農道整備や緊急度の高いため池整備、治山施設、海岸保全施設、漁港施設整備の実施／手入れ不足人工林の強度間伐／侵入竹除去／松くい虫被害対策強化

主なソフト事業

- (1) 農業参入サポートデスクの開設（H19.1）／農業インターンシップ事業（H19～）／企業的经营体の育成や集落営農組織の法人化支援（H20～）／（財）いしかわ農業人材機構の開設（H21.4）、（公財）いしかわ農業総合支援機構への改組（H26.7）／いしかわ耕稼塾の開設（H21.4）／第16回全国農業担い手サミット in いしかわ（H25.10）／いしかわ農業参入支援ファンド（140億円）（H26.7創設）
- (2) うまい・きれい石川米づくり運動／販路拡大に向けた県産食材求評懇談会「いしかわ百万石マルシェ」（H18～）／「ルビーロマン」の品種登録（H19.3）／奥能登直行便（H21～）／県内の商工業者と農林漁業者が直接商談を行う地産地消受注懇談会（H21～）／能登牛1000頭生産体制の整備（H22～）／東京・大阪での「ルビーロマン」のトップセールス（H23～）／「のとてまり」の商標登録（H23.9）／石川県産フリーズドライ新品種の名称「エアリーフローラ」の決定（H24.12）／「能登とり貝」の本格生産（H26～）
- (3) 素材生産協同組合の設立（H19）／いしかわ木づかい応援ローン制度（H20～）／いしかわ木に見えるたてもの推進事業（H21～）
- (4) 水産総合センターによる魚価情報等の電子発信（H20～）／石川県漁協による水揚げ・販売情報の電子発信（H20～）／県漁協による商標登録：「天然能登寒ぶり」（H20）、「加能ガニ」（H23）など11品目／ミズガニ漁獲自粛（H26～）
- (5) いしかわ森林環境基金事業（いしかわ森林環境実感ツアー、こども森の恵み推進事業、森づくりボランティア推進事業等）（H19.4～）／いしかわ田んぼの学校推進プロジェクト事業（小学生を対象に農作業体験）／フォレストサポーターの養成／海岸清掃ボランティアの開催／中山間地域等直接支払（H19～）及び農地・水保全管理支払（H19～H25）、多面的機能支払（H26～）の取り組み拡大支援／能登の里海藻場保全対策事業（H24～）／第66回全国植樹祭（H27.5）

【成果】

■ 達成目標に設定した指標（16項目）

達成度区分	A	B	C
項目数（割合）	5（31.25%）	6（37.50%）	5（31.25%）

- A…企業的经营体数（水稻主体）、学校給食における県産食材の利用割合、エコ農業取組面積、間伐材生産量、資源管理計画策定数
- B…担い手への農地利用集積率、ほ場整備実施済み面積、米の1等米比率、中核的漁業者協業体数、ため池整備数、フォレストサポーターの養成数
- C…集落営農組織数、戦略作物の選定数、木材加工流通拠点数、産地市場数、田んぼの学校実施率

■ その他の主要な成果

- 新規就農者数：150名（H25）（いしかわ耕稼塾開設前平均32名）
- 耕稼塾修了生の約7割が就農（就農者115人/受講者数174人）
- (株)スギヨファーム（H19）や(株)ミスズライフ（H25）、(有)ワールドファーム（H26）などの法人参入
- 戦略作物の販売額 65,081千円（H16）→ 181,864千円（H26）
- いしかわ百万石マルシェによる首都圏への販路拡大（H25までの受注累計件数：670件）
- 農業インターンシップにより、奥能登地域で47人受け入れ、17人が定着（H19～H25）
- 中山間地域等直接支払：4,910ha
- 多面的機能支払：農地維持21,544ha、資源向上（共同活動）18,209ha、資源向上（長寿命化）2,838ha

【現在・将来における課題】

農林水産業

- 担い手の育成・確保、農林水産施設の老朽化対策

農業

- 農家の減少や高齢化による耕作放棄地の増加や集落機能の低下、里山の荒廃が懸念されており、特に奥能登地域では地域内だけでの人材確保が困難な状況
- 地域外からの企業や農業法人の参入等多様な担い手の確保
 - 県産食材の個々の強みに磨きをかけることによる需要拡大
 - 食育への理解度や実践度の低さ
 - 家庭、学校、地域社会が一体となった食育

林業

- 外国産材の価格が不安定な状況、木質バイオマス利用の普及等による木材の新規需要見込みによる国産材の需要増予想といった状況
- 生産コストの低減や、県産材（原木・製品）の加工・流通施設整備など供給体制の整備
 - 依然拡大している侵入竹林・荒廃竹林への対応、森林資源の利活用

水産業

- 海洋環境の変化の状況に応じた資源管理計画の見直し、資源回復の取り組み

[施策検証表]

将来像Ⅲ 暮らしやすさが実感できる「いしかわ」

重点戦略6 安全でうるおい豊かな環境づくり

【重点戦略に基づく施策】

- (1) 官民一体となった災害に強い県土づくり
- (2) 身近な安全・安心が確保された社会づくり
- (3) 安全で良質な医療を受けることができる地域社会づくり
- (4) 環境への負荷の少ない循環型社会づくり
- (5) 自然と人とが共生できる社会づくり

【事業の実績】

主なハード事業

- (1) 千里浜海岸の侵食対策 (H21～) / 送水管の耐震化 (2 系統化) 事業 (H22～) / 北河内ダム (H22)、辰巳ダム (H24) / 災害対応拠点施設の自家発電設備の整備 (H25) / 浅野川「緊急対策特定区間」などの河川改修 (H25) / 防災拠点施設の耐震化 / 緊急輸送道路上の橋梁の耐震化や法面落石対策 / 能登半島地震の復興支援事業として街路整備
- (2) ゾーン 30 (歩行者の安全確保のため区域ゾーンを定めて最高速度を 30km/h とした生活道路対策) (H23～) / 警察署の機能強化: 松任警察署と鶴来警察署を統合し白山警察署を新設 (H24. 4)、穴水警察署と輪島警察署及び能登警察署と珠洲警察署を再編統合 (H24. 4) / 信号機の LED 化及び標識の高輝度化
- (3) 南加賀救急医療センター (H24. 11) / 金大病院 CPD センター (H25. 4) / 診療情報共有ネットワーク (H25～) / 新県立中央病院の建設工事着工 (H27. 3) / 新生児集中治療室 (NICU) の整備
- (5) 白山室堂等の整備、能登半島国定公園での園地等の整備、登山道等の改修、夕日寺健民自然園整備事業

主なソフト事業

- (1) 土砂災害警戒区域の指定 (H18～H26) / 地域防災のリーダーとなる防災士の育成 (H20～) / 津波浸水想定区域図の作成 (H23) / 学生等災害ボランティアリーダー育成 (H24～) / 土砂災害対策アクションプログラムの策定 (H26) / 災害ボランティアコーディネーター養成 / 地域防災計画の見直し
- (2) 反射タスキ着用運動 (H22～) / 石川県警察 IP 防犯ネットワーク (H23～) / 生食用食肉取扱い施設に対する衛生教育、監視の強化、県民への普及啓発 (H23～) / 石川県暴力団排除条例 (H23. 8 制定) / 中学・高校生対象の自転車ルール・マナー検定を活用した交通安全教育 (H25～) / 石川県薬物の濫用の防止に関する条例 (H26 制定) / 石川県食の安全・安心推進条例 (H26 制定)
- (3) 看護師等修学資金の拡充 (H19～) / 医療・薬局機能情報提供システム (H20～) / 金沢大学医学部特別枠医学生への修学資金の貸与 (H21～) / 寄付講座の設置による医師派遣 (H22～H25) / がん安心生活サポートハウスの開設 (H25. 4) / 看護師の再就職に向けた研修、働きやすい職場づくりへの支援
- (4) 4 つの「いしかわ版環境 ISO」 (H19～) / 産業廃棄物の減量化 (H20～) / 海岸漂着物地域対策推進事業 (H21～) / 大気汚染 (PM2. 5) の監視体制強化 (H22～) / 新エネルギー導入促進のためのガイドブック作成 (H23. 3) / 省エネ・節電アクションプラン (H24～) / いしかわ住まいの省エネパスポート制度 (H24～) / 石川県再生可能エネルギー導入支援融資 (H26. 7 創設)
- (5) いしかわ動物園におけるトキの分散飼育 (H22. 1～) / いしかわ版里山づくり ISO (H23～) / いしかわ里山創成ファンド (53 億円) (H23. 5 創設) / いしかわ里山ポイント制度 (H24～) / 世界農業遺産国際会議 (H25. 5) / SATOYAMA イニシアティブ推進ネットワーク (H25～) / 里山クマ対策事業 (H25～) / いしかわジビエ (H25～)

【成果】 ■ 達成目標に設定した指標 (20 項目)

達成度区分	A	B	C
項目数 (割合)	11 (55. 00%)	4 (20. 00%)	5 (25. 00%)

- A…大雨や地震等において緊急車両の通行が確保された緊急輸送道路の割合、交通事故年間死傷者数、自主防犯ボランティア団体数、食中毒発生件数、病院における医療法上の医師充足率 (能登北部地域)、生活排水処理施設整備率、里山保全再生協定数 等
- B…住宅耐震化率、消雪施設が必要な幹線道路の区間のうち設置済みの割合、消費者苦情相談の市町受付割合、公共的水域の環境基準達成率
- C…交通事故年間死者数、医療機能評価認定病院数、一般廃棄物のリサイクル率 等

■ その他の主要な成果

- 県内防災士数: 3, 222 人 (H26 末) (人口に占める防災士の割合は全国第 3 位)
- 防災拠点施設の耐震化: 99. 6% (H26 末) (H27 に完了予定)
- 緊急輸送道路の橋梁耐震化: 落橋防止対策 全て完了 (H25)、橋脚の耐震化: 対象 169 橋のうち 152 橋を完了 (H26)
- 自転車乗車中の死傷者数: 1, 298 人 (H17 年) → 566 人 (H26 年)
- 歩行中の死傷者数: 815 人 (H17 年) → 458 人 (H26 年)
- 能登北部 4 病院の常勤医師数: 医師数 51 人 (H21) → 60 人 (H26)
- 診療情報共有ネットワーク参加医療機関: 約 400 病院・診療所 (H26)
- 家庭版環境 ISO に取り組む家庭数: 9, 294 家庭 (H23) → 24, 072 家庭 (H26)
- 戸建住宅着工件数に対する認定低炭素住宅の割合が全国 1 位 (H26 までの累計)
- いしかわ版里山づくり ISO 認証団体: 206 団体 (H26)
- いしかわ里山創成ファンド事業採択件数 (累計): 67 件 (H26)
- トキの分散飼育: 飼育下の 3 ペアから 10 羽を成育 (H26)

【現在・将来における課題】

災害対策

- 防災拠点を結ぶ緊急輸送道路の強化や災害に強いライフラインの構築、社会資本の老朽化対策、金沢港における耐震強化岸壁の整備等
- 東日本大震災を踏まえた「自助」「共助」による地域防災力のより一層の向上
- 多発するゲリラ豪雨による洪水や土砂災害等の自然災害への対応
- 支援する側とされる側の円滑なマッチングを行う災害ボランティアコーディネーターの養成

治安対策

- 高水準で推移する高齢者の交通死亡事故防止対策
- 振り込め詐欺等新たな手口の犯罪、子供や女性を狙った犯罪の被害防止対策

消費者支援施策

- 消費生活相談体制の充実・強化及び消費者教育の推進

地域医療

- 高齢化の進展を踏まえた、効率的かつ効果的な医療提供体制の確保・充実
- 高度化・多様化する医療ニーズへの対応、医療従事者の確保等、在宅医療の充実等

環境保全

- 地球温暖化対策
- 大気環境・水環境・土壌環境の保全、化学物質の適正管理など
- 廃棄物等の排出抑制、再使用、再生利用の 3 R の推進
- 再生可能エネルギーの一層の導入
- 生物多様性・里山里海への理解の浸透、里山里海の利用・保全を通じた生物多様性の保全等
- 野生鳥獣による被害の防止となる捕獲強化や、獣肉の利活用、外来種対策

[施策検証表]

将来像Ⅲ 暮らしやすさが実感できる「いしかわ」

重点戦略7 みんなで支える安らぎのある社会づくり

【重点戦略に基づく施策】

- (1) 少子化対策最先進県を目指した取組みの推進
- (2) 高齢者の健やかな暮らしへの支援
- (3) 障害者の自立と社会参加への支援
- (4) 地域福祉を支える環境づくり
- (5) 県民のこころとからだの健康づくり
- (6) お互いの人権の尊重と男女共同参画社会形成の推進

【実施した事業】

主なハード事業

- (1) 新生児集中治療室(NICU)の整備【再掲】／保育所等の整備に対する助成
- (2) 介護保険施設等の整備に対する助成
- (3) 障害サービス事業所の整備に対する助成

主なソフト事業

- (1) プレミアム・パスポート事業(H18.1～)／マイ保育園事業の充実・強化(H18～)／しあわせ発見事業(縁結びist活動支援等)(H18～)／いしかわ女性再チャレンジ支援室の設置(H18.7)／児童虐待防止に向けたオレンジリボンキャンペーン(H19～)／ゆったりマイホーム建設費補助(～H19)／企業が従業員の仕事と子育ての両立を支援する「一般事業主行動計画」の策定対象範囲を拡大：従業員100人～300人(H20)、従業員50～99人(H25)／放課後児童クラブの開所時間延長に対する支援(H23～)／あんしん賃貸支援事業(H23.6～)
- (2) 介護サービス事業者に対する認知症に関する研修(H13～)／ゆーりんピック(H23～)／地域見守りネットワーク構築(H23～)／傾聴ボランティア養成(H23～)／お達者ですか訪問事業(H23～)
- (3) 障害者ふれあいフェスティバル／発達障害者支援センターによる相談支援等(H17～)／高次脳機能障害相談・支援センターの設置(H19)／石川県障害者権利擁護サポートデスクを設置(H24)
- (4) 民生委員と町内会等の協力による見守り力向上や相談を円滑に繋ぐ「顔の見える関係づくり」(H24～H26)／買い物支援・生活支援サービスの提供体制づくりへの支援(H24～H26)
- (5) 健康づくりに取り組む企業への保健師や栄養士等専門家の派遣(H21～)／いしかわ健康づくり応援企業等連絡協議会の設置(H22)／健診データ知っとくナビの作成・普及(H24～)／もっと野菜プロジェクト(MYP350)(H24～)／50代を対象に運動器症候群(ロコモ)予防の普及(H25～)／いしかわヘルシー&デリシャスメニューの開発と普及(H26～)
- (6) 人権啓発フェスティバル／若年層向けDV予防啓発セミナー(H20～)／大学での男女共同参画ワークショップ(H23～)／「いしかわ男女共同参画推進宣言企業」認定制度(H24～)／配偶者等からの暴力根絶に向けたパープルリボンキャンペーン(H25～)

【成果】

■ 達成目標に設定した指標(16項目)

達成度区分	A	B	C
項目数(割合)	5(31.25%)	4(25.00%)	7(43.75%)

A…高齢者人口10万人当たりの訪問介護及び通所介護の事業所数、1ヶ月の居宅介護サービス利用時間数、グループホーム・ケアホーム利用者数、福祉施設の利用から一般就労への年間移行者数、自殺者数

B…合計特殊出生率、ワークライフバランス企業として登録する企業数 等

C…子育て支援コーディネーターの配置保育所数、要介護認定率、特別養護老人ホームの個室ユニット化率、福祉サービス第三者評価受審施設割合、健康寿命、「男女共同参画社会」という用語の周知度 等

■ その他の主要な成果

○マイ保育園の登録率：50.6%(H21)→60.3%(H25)

○ファミリーサポートセンター：9市町(H21)→全19市町(H26)

○プレミアム・パスポート事業協賛店舗数：1,948店舗(H21)→2,304店舗(H26)

○一般事業主行動計画の策定企業割合(従業員数50～100人)：15.4%(H21)→94.8%(H26)

○縁結びistの活動により約500組が成婚(H18～H26)

○老人クラブ加入率：28.5%(H25)、全国2位

○障害者ふれあいフェスティバル参加者数：約12,000人(H17)→約15,000人(H26)

○健康寿命：男性71.0歳、女性74.54歳(H22)、男女ともに全国9位

【現在・将来における課題】

少子・高齢化対策

○人口減少の観点からの少子化対策、H27年度からの子ども・子育て支援新制度への対応

○団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年(H37年度)において、要介護高齢者の大幅な増加が見込まれることに対する、介護・福祉人材の確保や資質の向上、認知症施策の推進、サービス提供体制の整備

○バリアフリー等のノーマライゼーションに対する県民の理解の深化、高齢者等への見守り・相談体制、生活支援サービス提供体制づくり

障害福祉

○障害者一人ひとりの適性や障害の状態にあわせたきめ細やかな就労支援

○発達障害についての関係者の理解が深まってきたことによる相談件数の増加に対応した、住民に身近な市町を含めた相談体制の充実

健康づくり

○生活習慣病の発症予防・重病化予防、介護予防など、健康寿命の更なる延伸

○自殺予防・防止対策

人権・男女共同参画社会

○依然として存在する様々な人権問題や、社会環境の変化に伴い価値観の多様化、高度情報化等を背景とした新たな人権問題への対応

○男女共同参画社会の実現に向けた県民の理解の促進、方針・立案の決定過程への女性の参画の拡大

[施策検証表]

将来像Ⅲ 暮らしやすさが実感できる「いしかわ」

重点戦略8 未来を拓く心豊かな人づくり

【施策の概要】

- (1) 個性を伸ばす学校づくり
- (2) 建学の精神を尊重した私学の振興
- (3) 青少年の健全育成
- (4) 全ての世代を通じての生涯学習の推進
- (5) 生涯スポーツの振興と競技力の向上

【事業の実績】

主なハード事業

- (1) 老朽化した校舎等について計画的な改築工事、学校施設について着実な耐震化事業 (H18～)
- (5) いしかわ総合スポーツセンター (H20.4 開設) / 石川県立武道館に屋内相撲場を併設 (H20) / 西部緑地公園陸上競技場の公認更新のための改修 (H20、H25)

主なソフト事業

- (1) いしかわニュースーパーハイスクール推進事業、高等学校連携による教育向上推進事業(普通高校)、長期型企業実習、未来の職業人プロジェクト事業(専門高校) / スポチャレいしかわ (H18～) / いしかわ子ども総合条例の制定 (H19.3) / 県立高等学校の活性化推進計画 (H19.10) に基づく高等学校の再編 / 「いしかわ学びの指針 12 か条」の策定 (H23.1) / 学力向上プログラムの作成 (H23.3) / いしかわ版道徳教材「ふるさとがはぐくむ道徳いしかわ」の作成・配布 (H23、H24) / いしかわ学びの指針 12 か条推進校の指定 (H24～H26) / 県独自の学力調査 / いしかわ師範塾 (H25.4～) / ふるさとモット学び塾 (H25～) / いしかわ新教員研修制度 (H26.5) / いしかわ子ども自然学校や海洋体験活動 (H24～) / 全公立学校にいじめ問題対策チームを設置 (H24) / いじめ対応アドバイザーの派遣 (H24～)
- (2) 私立幼稚園、小学校、中学校、高等学校、専修学校に対する経常費補助及び施設整備費補助
- (3) 生徒指導サポーターの派遣 / 非行・被害防止講座 / 少年警察ボランティアや大学生ボランティアによる少年とのふれあい活動 / コンビニエンスストア、レンタルビデオ店、書店等に対する有害図書区分陳列一斉検査(年2回) / 有害サイト利用防止のための広報活動、フィルタリング利用促進活動 / いしかわ子ども総合条例に基づく携帯電話の利用制限 / 石川っ子あすなろ塾 (H25～)
- (4) 県民大学校、大学院 / いしかわ長寿大学 / 石川県立図書館の機能強化(図書館マルチ検索・予約管理システムの管理) / 生涯学習情報提供システム「あいあいネット」
- (5) 石川県民スポーツ・レクリエーション祭 / スポナビいしかわ / 総合型地域スポーツクラブの育成支援 / 一貫指導体制の確立や中学・高校生の強化と国体選手の強化 / いしかわ総合スポーツセンターでの競技開催: アジアウエイトリフティング選手権 (H20)、全日本総合ハンドボール選手権大会 (H20)、全日本実業団バドミントン大会 (H23)、全国高校総体バスケットボール競技 (H24) / 天皇賜杯全日本軟式野球大会 (H21) / 日本スポーツマスターズ 2011 石川大会 (H23)

【成果】

■ 達成目標に設定した指標 (8 項目)

達成度区分	A	B	C
項目数 (割合)	4 (50.00%)	4 (50.00%)	0 (0.00%)

A…就職希望者の就職内定率、石川県民大学校修了者数(累計)、県立生涯学習施設年間利用者数、スポーツ指導者(有資格者)数

B…高等学校進学率、大学・短大進学率、書店・ビデオ店等の立入調査実施店舗数、県民スポーツ・レクリエーション祭参加者数

■ その他の主要な成果

- 学力向上: 小学校 6 年、中学校 3 年ともに全ての教科で県平均が全国平均を上回っている (H26)
- 体力向上: 小中学校男女とも県平均が全国平均を上回っている (H26)
- 時代や社会のニーズに応じた県立高校の改編: 志賀高校、能登高校の新設 (H21) など
- 非行防止の取り組み
 - ・非行(薬物乱用)防止教室: 233 校、55,254 人 (H26)
 - ・ピュアキッズスクール実績: 169 校、20,035 人 (H26)
- 刑法犯少年: 1,061 人 (H18) → 353 人 (H26) 66.7%減少
(うち初発型非行: 674 人 (H18) → 222 人 (H26) 67.1%減少)
- 学校施設の耐震化率: 92.4% (H26)
- いしかわ総合スポーツセンターの個人利用者: 約 50 万 7 千人 (H23～H26、4 年連続 50 万人以上)

【現在・将来における課題】

学校教育

- 少子高齢化やグローバル化、科学技術の進展など、急激な社会の変化や、学校における学習内容や学習形態の多様化への対応
- 教職員の急激な世代交代への対応
- 学習指導要領の改定への対応
- 国の第 2 期教育振興基本計画や教育再生実行会議の議論への対応

健全育成

- メディアリテラシー(情報を正しく評価し活用する力)の育成
- 携帯電話・スマートフォン等の普及による、無料通信アプリを介したトラブルの増加等、少年非行への対応
- 問題行動等の多様化に対する学校の組織的対応

生涯学習

- 趣味や教養といった自己完結型の学習から、地域参画・社会貢献の機会を含めた学びの環境づくり

スポーツ振興

- 生涯にわたりスポーツを楽しめるような環境の整備
- 2020 東京オリンピックに向けたスポーツに対する関心の高まりへの対応